

9月28日(月曜日)「イエスと共なる人生」

【新改訳 2017】

ルカ 8.22-25

「……イエスは弟子たちといっしょに舟に乗り、『さあ、湖の向こう岸へ渡ろう』と言われた。それで弟子たちは舟を出した。……ところが突風が湖に吹きおろして来たので、弟子たちは水をかぶって危険になった。」(22、23 節)

これは、主イエスが弟子たちを促して、ガリラヤ湖を舟で向こう岸に渡ろうとされた時の記事の前半部分です。できれば、ぜひ後半も読んでください。ここには、主イエス・キリストを信じて歩む人生の縮図を見るとともに、信仰的教訓がたくさんあるからです。

主は時々ご自分のほうからお声をかけ、そして、弟子たちの歩みを方向づけられます。主が共にいてくださっても、人生の突風が吹き荒れることがあり、いつも平穏なだけではありません。時々、神が休んでおられるかのように、祈りの答えがないこともあります。しかし、主は自然界の主であると同時に、人生の主でもあられ、おことばで人生の嵐も静めることができ

る方なのです。どんな時にも主への信仰で歩めるように祈り  
ましょう。

～祈り～

主よ。あなたとごいっしょの生涯を送らせていただいているこ  
とを感謝します。どんな時にも、あなたのご臨在を忘れず、あ  
なたを信頼することができますように。

### 【学びのために】

この記事を、主イエスを信じて生きる人生航路の縮図として見、  
考えてみてください。大変参考になります。